

こんにちは!

日本共産党長野市議団 です

2025年9月定例議会報告

発行／日本共産党長野市会議員団

〒380-8512 長野市緑町1613

長野市役所内 日本共産党控室

TEL・FAX 026-266-7882

E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp

HP http://www.naganojcp.assrv.com/



9月定例議会が9月4日から10月1日まで開かれました。黒沢清一、野々村ひろみ、佐藤たかし市議が質問を行い、滝沢しんいち、あでがわ希両市議は討論などで奮闘しました。

市民が主人公の市政をめざして

市議会議長選挙にあたって 黒沢清一議員の所信表明(要旨)

この間長野市議会では、正副議長を最大与党会派である新友会がほぼ独占してきました。

しかし、この間様々な不祥事を起こしている新友会に、議会の代表である正副議長を務める資格があるのかと改めて問います。

長年にわたって新友会の政策モニター研修会において交通費と称して市民に一律3000円の現金支給が行われていたことが明らかになりました。政治倫理審査会において政治倫理条例の行為規範に反すると認定されています。政この事案において、新友会内部の役員の辞任はあったものの、公人である議員としての責任はだれ一人取ってはいません。

議長には、長野市政活動費の「政務活動費の適正な運用と、使途の透明性の確保に努める」義務が課されています。しかし、新友会歴代議長も全員関係しており職務は果たされませんでした。

私は、市民の信頼を取り戻し、市民の代表として市民の声を聞く中で政策の立案、提案を行い、また、子どもの権利条例を生かし、子どもたちの意見を聞く機会を増やします。

…投票結果：黒沢清一10票、若林祥25票…

市内公共交通を守れ 縮小・廃止からの転換を

長電バスは8月に須坂屋代線について縮小・廃止を含めた見直しを表明。通学としての利用が7割あり、学生や地域住民へ非常に大きな影響があります。存続に向けて積極的に関わるべきと質しました。市は「県や沿線の市と連携し、地域の皆さん」の意見も聞いて移動手段の確保を図つていく」としました。

また、それ以外の市内公共交通についても、「切実な要望」であり、重要な施策。新たな運行形態についても調査している。新しい公共交通の

在り方を構築していきたい」と答弁しました。深刻さを増す状況の中だからこそ、積極的に市民の声に応えていくよう強く要望しました。

社会体育館の有料化 アンケートの早急な公表を

年1～2月に社会体育館に関する市民アンケートが行われましたが、9月現在でもその結果が公表されていません。その理由を質問したところ、「内容を慎重に分析、検討を行っている状況」と答弁。22年に行われた同様のアンケートは締め切りから2か月で公開されています。一方、このアンケート結果に關

し市民が情報公開請求を行いましたが、非公開とされました。理由は「現在精査中のため」という答弁でした。しかし精査中だからと言つて、アンケート結果自体を公開できない理由にはなりません。ここまで情報が隠されるのは異常と言わざるを得ない状況です。

エアコン設置補助を要求 財源確保できれば検討したい

公営住宅に暮らす市民の方から「エアコンのない部屋に暮らす高齢者がベランダで青息吐息で涼んでいたが、なんとかしてあげられないものか」と相談がありました。東京都の調査によると熱中症で死亡された方のうち8割が、エアコンがないか、あっても使っていなかつたとのこと。そのため東京都では低所得者などのエアコン設置に対して8万円の助成をする方針を決めました。長野市でも検討すべきではないかと質しました。保健福祉部長は「国は新たな経済対策を検討しているとのこと。財源となる国の交付金などの状況を注視して対応を考える」と答弁。今後も猛暑が続くことが予想され、命にかかることが予想され、命にかかることがあります。長野市単独でも早急に助成を考えるべきです。

物価高騰対策として 水道料金の減免を検討すべき

新たな挑戦への決意 野々村ひろみ

私は、10期38年間、日本共産党市議会議員として長野市政に携わってきました。このたび、38年間の市議会議員としての経験のすべてを活かして、新たに市政に挑戦することを決意しました。

私は、さまざまな市民運動のみなさんと市民の願い実現の取り組みをしてきました。

子どもの権利条例をつくるにあたって、理念だけでなく実効性をもたせるためのオンブズパーソンをしっかりと条例の中に盛り込めるように運動を行ってきた皆さんや、長野駅前の再開発にタワーマンションが本当にふさわしいのかと疑問を持って頑張ってきた方々、スポーツを軸としたまちづくりという一方で、社会体育館の大幅な有料化反対に立ち上がったみなさんと運動をしてきました。さらに、公共交通について、中山間地域と市街地を結ぶ路線を一斉に減便廃止することが発表され、子どもたちにまで大きな影響が出ます。

これらの問題に、一貫して取り組んできたものとして、住民の皆さんのがんばりに沿った、長野市政に変えていくために、みなさんと力を合わせて頑張る決意です。

局長は「物価高騰などを考慮して水道料金は据え置きにしている。県営水道のエリアがあつたり、共益費の扱いになつていて、集合住宅などもあるため、公益性の課題もあり、現在検討していない」との答弁。しかし長野市の水道料金は全国的にも非常に高く、物価高騰で苦しむ今こそ、全世帯を対象に実施すべきです。

除外主義について

今年7月の参院選で、外国人を敵

などの高騰分を水道料金の減免といふ形で支援し、市民の命を守るべきではないかと質しました。上下水道局長は「物価高騰などを考慮して水道料金は据え置きにしている。県営

の特徴は「他者の存在、他者の尊厳と人権を認めない」ことにあります。除外主義の攻撃の矛先は、やがてすべての人たちに向けられるということが歴史の教訓です。

「外国人は生活保護を受けやすい」「外国人の犯罪が増えて治安が悪化している」「中国人などに土地を買い占められている」など、根拠のないデマやウソがふりまかれました。差別やヘイトに反対する幅広い市民的連帯をつくりだすことが重要ではないかと質しました。

市民生活部長は、「言語や生活習慣などの違いを乗り越え、外国人も長野市に暮らす住民の一人であることを理解するとともに、国際化や国際交流、多文化共生の推進を図りながら、国籍や民族にかかわらず、誰もが人間として尊重され、外国人と

視する除外主義が台頭しました。その特徴は「他者の存在、他者の尊厳と人権を認めない」ことにあります。除外主義の攻撃の矛先は、やがてすべての人たちに向けられるということが歴史の教訓です。

戦後80年にあたって

松代大本営跡は、日本を代表する戦争遺跡です。長年の努力の結果「松代大本営平和祈念館」が、今年10月にオープンします。

長野市は安全管理や保全に一定の責任は果たしているが、戦争遺跡としての価値、歴史や平和教育の場所としての価値を認めていないことは

長野市子どもの権利条例に対する修正案に賛成

条例案には子どもオンブズパーソンの職務を補佐する調査相談員の設置が規定されています。重大な権利侵害を未然に防ぐために、入口の段階で子どもの相談に応じ、子どもと周囲の人たちの関係修復を図ることに大きな意味があります。3名以内のオンブズパーソンだけでその職務を担うことは不可能であり、職務を補佐する調査相談員の設置は必要不可欠であるとして修正案が提出されました。

除外主義が広がり、虐待や貧困、子ども達が生きる社会は厳しさを増すばかりです。子どもの最善の利益を考えるならば調査相談員を条例案に明記するべきと賛成討論をしましたが、賛成少数で否決されました。

日本人がともに生きる開かれた地域社会の実現をめざす」と答弁しました。

どうなっているかと質しました。また安茂里にも海軍壕があり、市による調査研究保存が行われています。終戦間際の長野駅を中心とした空襲を語り継ぎ、継承する粘り強い取り組みがあります。

松代大本営跡は、日本を代表する戦争遺跡です。長年の努力の結果「松代大本営平和祈念館」が、今年10月にオープンします。

長野市は安全管理や保全に一定の責任は果たしているが、戦争遺跡としての価値、歴史や平和教育の場所としての価値を認めていないことは

監査委員の選任に反対

議員から監査委員を選任すること

について、地方制度調査会の答申で「短期で交代する例が多い、内部の者であり監査が形式的になりがち」との指摘があり、地方自治法改正で「議員のうちから監査委員を選任しないことができる」と見直しが行われました。そもそも議員には行政のチェック役としての使命があります。議員歳費とは別に月額61000円もの報酬を受領して引き受けるのは適切とは言えません。

さらに長野市議会では、新友会が政策モニター研修会に参加した市民らに現金を支給していたことを、政治倫理審査会が行為規範に反すると認定しました。公職選挙法によって寄付行為が禁止された公人でありながら、何年にもわたって有権者へ現金を渡し続けてきたことに何の疑問も抱かない方では、到底監査委員は務まりません。以上のことから、新友会から2人の監査委員を選任す

として平和活動への支援を行うべきと質しました。

企画政策部長は「戦争遺跡としての登録については、国が責任を持つて、その評価と価値づけを明らかにすべきである。国の評価と価値づけがなされた際には、史跡指定を含めて検討していく。地下壕は、保全に努めていく。子どもたちや市民に安全にありのままの姿をみていただくことが重要である」と答弁しました。



(団長)
野々村ひろみ



(副団長)
黒沢清一



(幹事長)
滝沢慎一



あでがわ希



佐藤たかし